

I 調査の概要

1. 調査の方法と内容

各都道府県並びに政令都市教育委員会、各都道府県私立学校担当箇所、所管する高等学校の海外修学旅行並びに修学旅行以外の海外研修の実施状況等について調査を依頼し、以下のとおりまとめた。

なお、東京都・福岡県の私立及び兵庫県の公私立の実施状況については本協会の独自調査によった。愛知県の私立学校に関しては、愛知県私立中学高等学校協会の協力を得た。

- (1) 調査の期日 平成28年5月1日現在
- (2) 調査対象 各都道府県並びに政令都市教育委員会、各都道府県私立学校所管部署
- (3) 調査内容
 - イ. 平成27年度海外修学旅行の実施校数、参加生徒数、実施時期、日数、旅行費用、訪問国
 - ロ. 平成27年度海外研修の実施校数、参加生徒数、実施時期、日数、旅行費用、研修先国、研修内容
 - ハ. 平成27年度国内航空機利用修学旅行の実施状況
 - ニ. 平成27年度国内修学旅行方面別実施状況
 - ホ. 平成27年度訪日教育旅行受入状況
 - ヘ. 平成28年度修学旅行の実施基準

2. 集計及び区分け等

- データは各都道府県並びに政令指定都市教育委員会、各道府県私立学校所管部署からのデータを集計し、一部本協会の調査データを加えた。
- 海外修学旅行・海外研修とも都道府県の実施校数・参加生徒数は出国数をベースとし、クラス別・班別及び課程別での実施を件数表示とした。また複数方面にまたがる場合、国別集計では延べ数でカウントした。
- 訪問国は、旅行という観点から大陸区分によったが、グアム・サイパン島は北アメリカに、パラオ・マーシャル諸島はオセアニアに区分した。
- 海外研修は学校が主催する3ヶ月未満の語学研修、ホームステイ、教科の特性を生かした実習・研修、姉妹校交流等をまとめ、研修内容の区分は本協会独自の仕訳によった。
- 国内方面別実施状況は、クラス別・班別及び課程別での実施や複数方面にまたがる場合も1校として集計のため、設置校数・生徒数と一致しない。
中学校は県によってデータ把握が困難なため参考数値として集計した。
- 訪日教育旅行受入状況については、各都道府県教育委員会で把握されているもののみ掲載した。

3. 平成27年度全国高等学校の概要

- 学校数は4,939校（本校4,851校、分校88校）で、前年度より24校減少している。
 - ・ 公立の学校数は3,604校で、前年度より24校減少している。
 - ・ 国立の学校数は15校で、前年度と同数である。
 - ・ 私立の学校数は1,320校で、前年度と同数である。
 生徒数は331万9千人で前年度より1万5千人減少している。
- 修学旅行対象学年（全日制2年，定時制3年，専科，別科，中等教育後期課程）の生徒数は、約111万2千人で前年度より約9千人増加している。

（資料：平成27年度文部科学省学校基本調査）

II 調査結果の概要

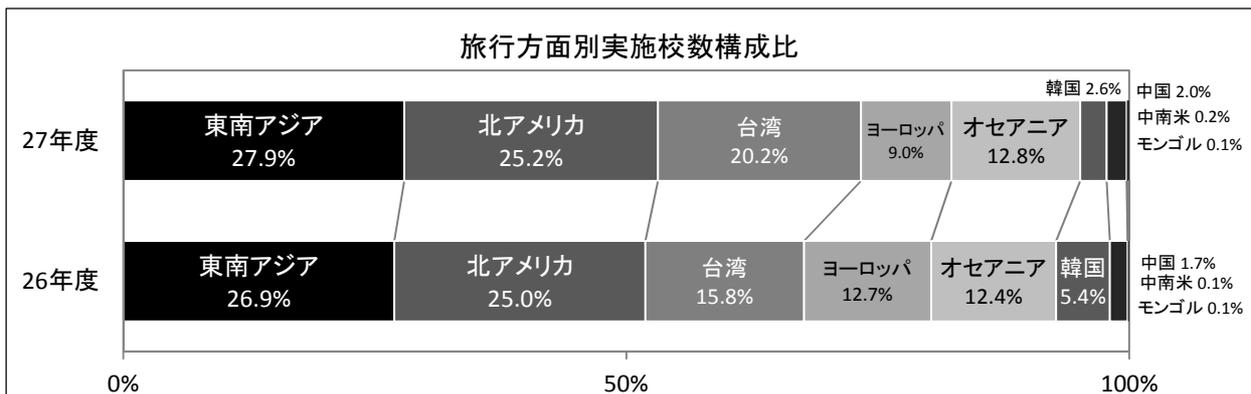
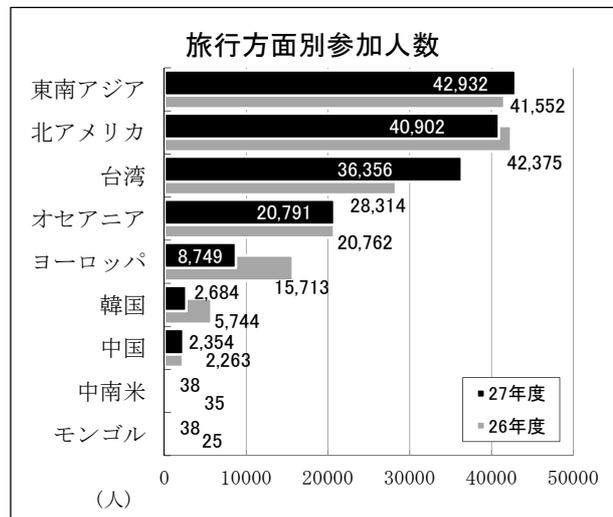
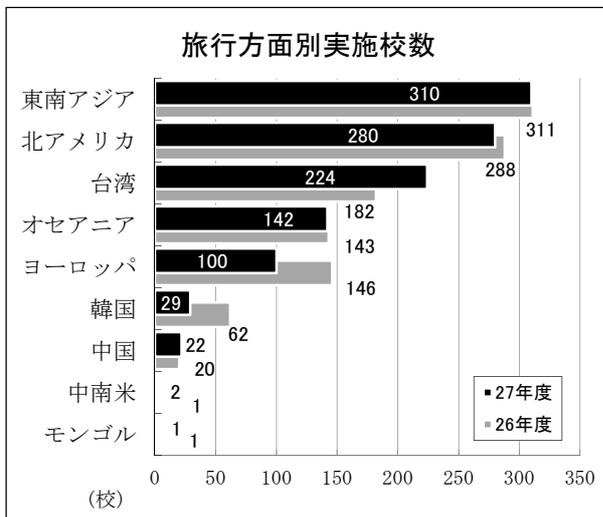
1. 平成27年度海外修学旅行の実施状況

(1) 全国の動向

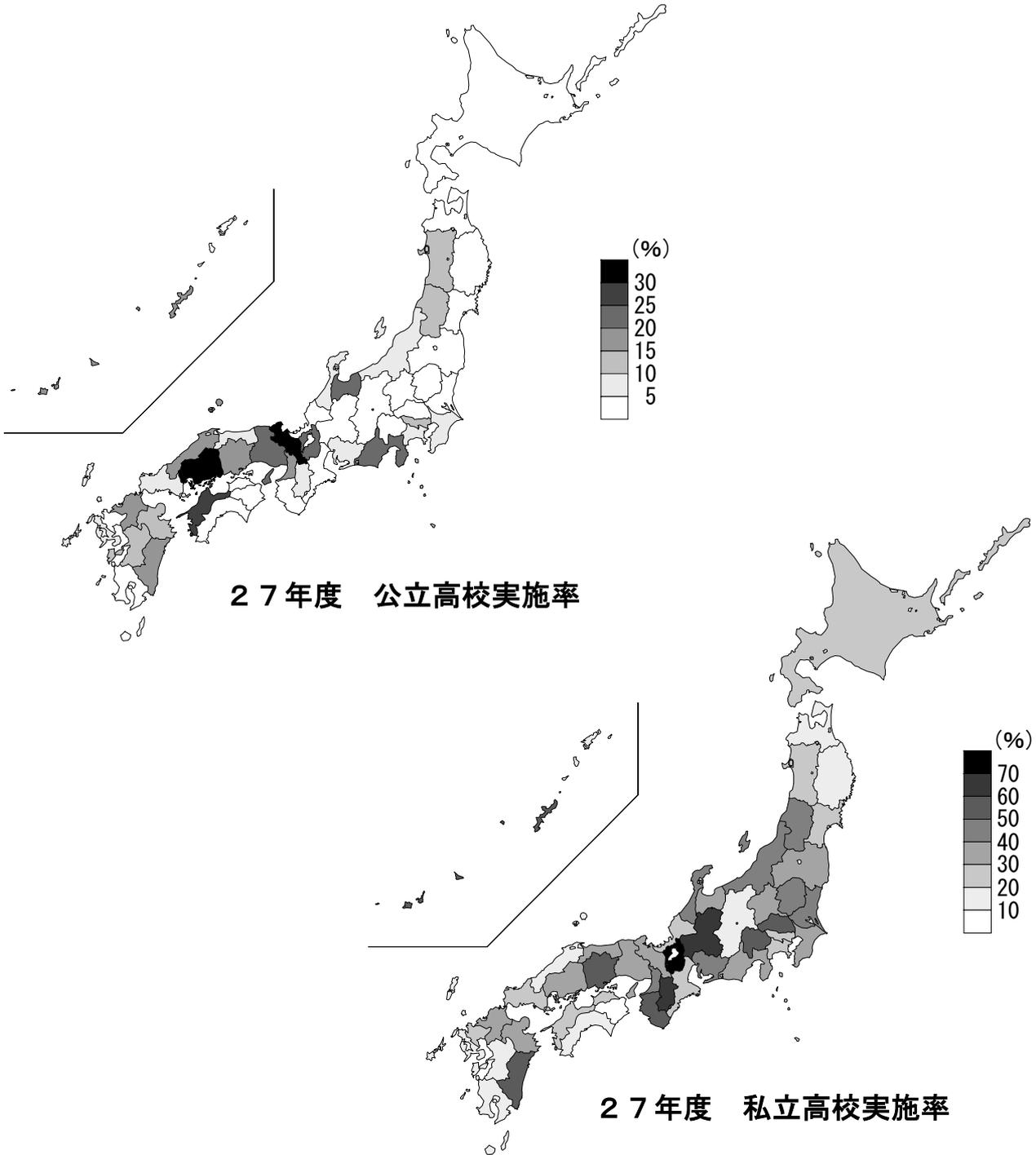
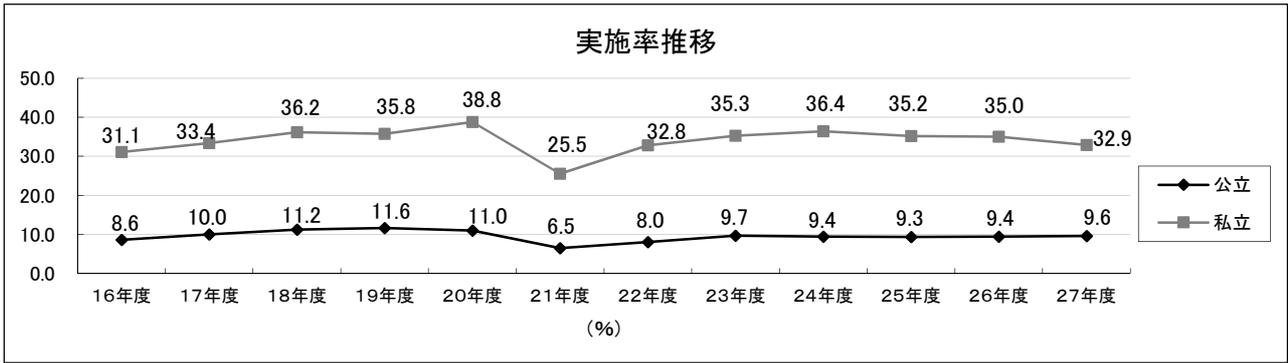
- 実施校数は減少(23校減)、参加生徒数は増加(451人増)、旅行件数は昨年同様であった。
全国で790校(公立350校・私立440校)が実施し、138,097人(公立57,760人・私立80,337人)の生徒が参加した。公立高校では9.6%、私立高校では32.9%の実施率であった。旅行件数は、1,036件(公立379件・私立657件)にのぼる。
- 前年度と比べ、公立は、実施校数・旅行件数・生徒数ともに増加、私立は全て減少している。
参加生徒数は、公立2,849人増・私立2,398人減となった。
- 旅行先(延べ数)では、37ヶ国・地域に1,110校154,844人が訪問した。
前年度より、実施校数・参加生徒数ともに増加した旅行先は、台湾・中国・中南米であった。中でも台湾は平成23年度、初めて1万人を越えてから毎年伸びており、平成25年度には2万人越え、そして本年度は3万6千人を越える結果となった(36,356人)。一方、ヨーロッパは、フランスのテロ事件などの影響もあってか、大きく減少した。韓国は、昨年のフェリー転覆事故などの影響もまだ残り、更に減少した。(前年比47%)
主要方面として、東南アジアは、310校42,932人(公立131校19,640人、私立179校23,292人)、北アメリカは、280校40,902人(公立93校12,888人、私立187校28,014人)であった。

① 年度別実施状況

区分	計			公立			私立		
	実施校数	旅行件数	参加生徒数	実施校数	旅行件数	参加生徒数	実施校数	旅行件数	参加生徒数
平成25年度	810	1,044	134,007	340	361	53,252	470	683	80,755
平成26年度	813	1,036	137,646	345	367	54,911	468	669	82,735
平成27年度	790	1,036	138,097	350	379	57,760	440	657	80,337



※グラフは延べ数を基に作成。



② 公私立高等学校の訪問国別生徒数 上位10ヶ国・地域

国・地域	年度	平成25年度			平成26年度			平成27年度		
		都道府県数	校数	人数	都道府県数	校数	人数	都道府県数	校数	人数
台湾		39	138	20,734	40	182	28,314	40	224	36,356
シンガポール		41	145	20,968	39	143	18,957	39	147	20,792
オーストラリア		34	114	14,778	29	120	18,134	33	116	17,527
マレーシア		32	133	20,139	32	135	19,064	32	117	16,572
グアム		28	101	15,257	29	99	16,111	27	107	15,827
ハワイ		27	74	10,090	28	77	10,661	29	84	13,174
アメリカ本土		20	57	7,052	25	63	9,034	25	54	6,778
カナダ		19	43	6,493	20	40	5,722	19	31	4,732
ベトナム		8	14	1,657	10	17	2,365	14	25	3,698
イギリス		17	43	5,529	22	49	6,626	18	33	3,383

②-1 公立高等学校の訪問国別生徒数 上位10ヶ国・地域

国・地域	年度	平成25年度			平成26年度			平成27年度		
		都道府県数	校数	人数	都道府県数	校数	人数	都道府県数	校数	人数
台湾		29	79	13,648	32	110	19,443	34	145	25,784
グアム		19	53	9,374	18	52	9,502	20	59	9,202
マレーシア		24	71	11,211	27	72	10,921	25	57	8,534
シンガポール		29	58	8,263	29	64	8,159	28	60	8,522
オーストラリア		12	18	2,600	13	23	3,276	13	23	3,155
ハワイ		8	17	2,415	7	17	2,472	9	18	2,590
ベトナム		1	4	821	3	6	1,356	4	9	1,974
韓国		20	55	6,182	11	25	2,283	9	10	1,072
アメリカ本土		8	11	448	7	12	774	8	12	642
中国		5	7	1,081	5	5	538	5	5	571

②-2 私立高等学校の訪問国別生徒数 上位10ヶ国・地域

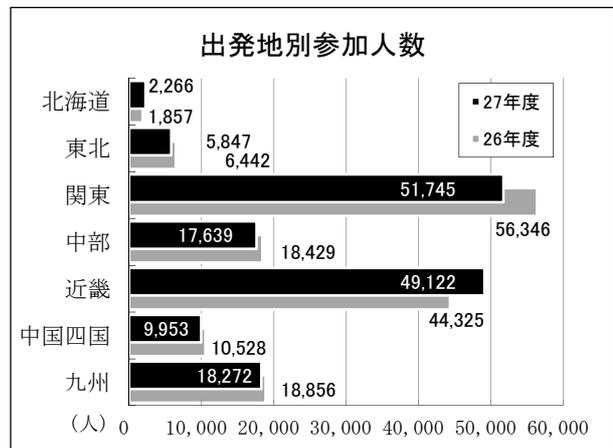
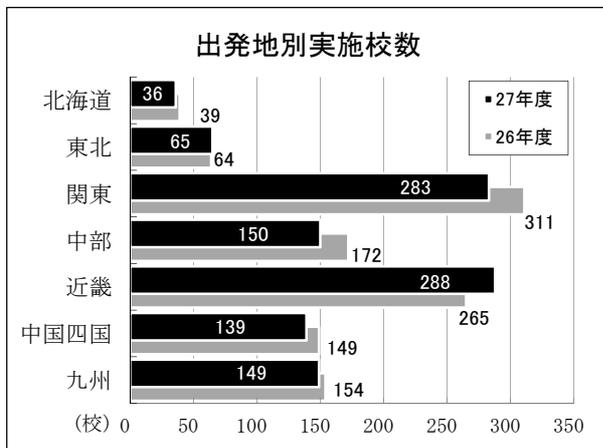
国・地域	年度	平成25年度			平成26年度			平成27年度		
		都道府県数	校数	人数	都道府県数	校数	人数	都道府県数	校数	人数
オーストラリア		29	96	12,178	26	97	14,858	30	93	14,372
シンガポール		33	87	12,705	33	79	10,798	32	87	12,270
ハワイ		25	57	7,675	26	60	8,189	27	66	10,584
台湾		31	59	7,086	33	72	8,871	32	79	10,572
マレーシア		26	62	8,928	26	63	8,143	26	60	8,038
グアム		25	48	5,883	24	47	6,609	21	48	6,625
アメリカ本土		19	46	6,604	24	51	8,260	22	42	6,136
カナダ		18	37	5,852	18	35	5,184	17	27	4,278
イギリス		17	40	5,415	21	44	6,426	18	31	3,308
ニュージーランド		10	22	2,051	10	20	2,243	9	21	2,776

(2) 都道府県別の動向

○ 実施校は、東北地方が1校・近畿地方が23校増加、その他の地方は減少。

また、実施校は、17府県で増加、21都道府県が減少。

公立では18道府県で増加、11都府県で減少。私立では13府県で増加、21都道県で減少している。

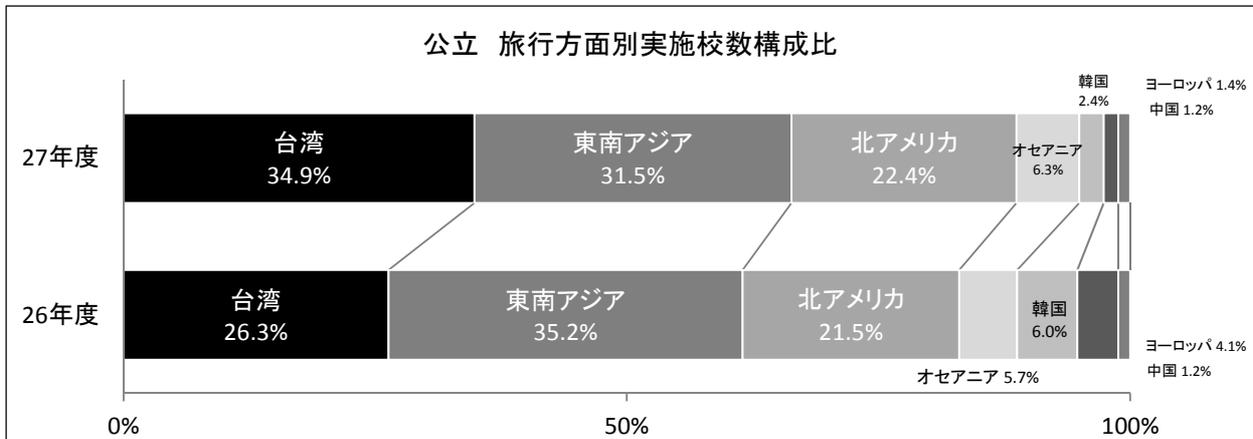
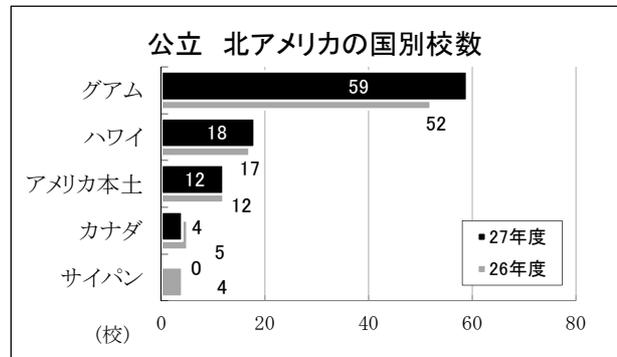
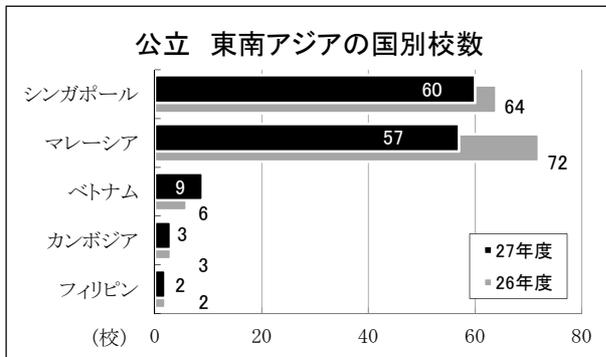
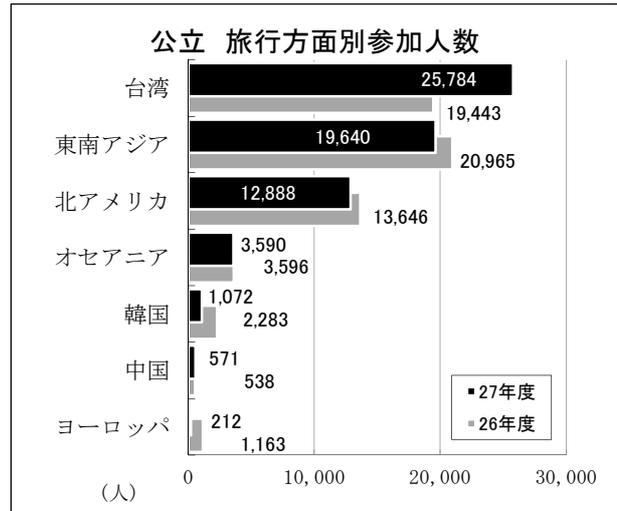
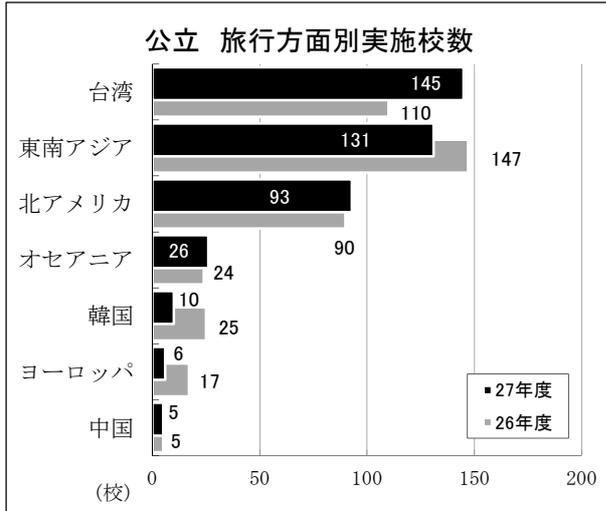


※グラフは延べ数を基に作成。

(3) 公私立別の状況

① 公立高等学校

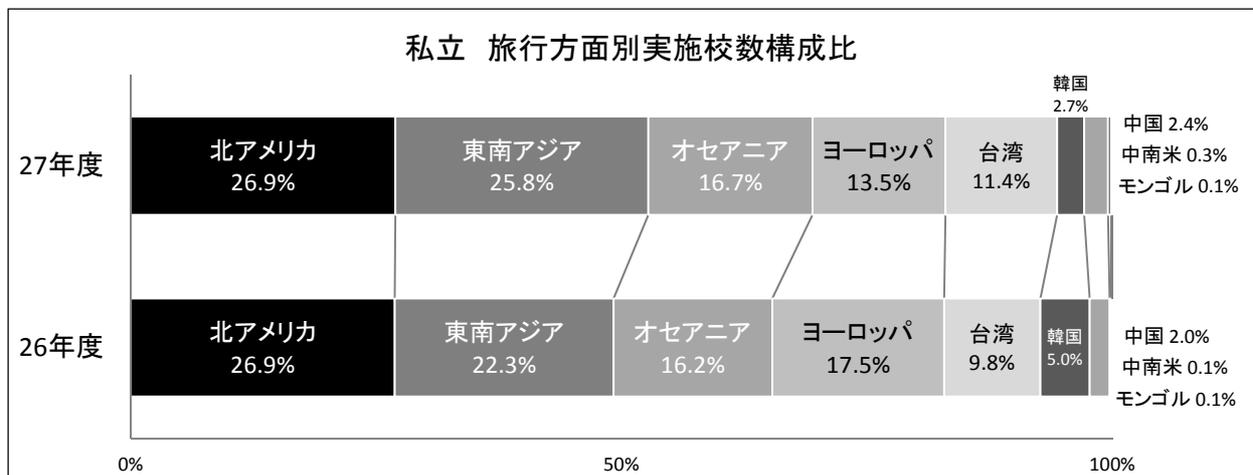
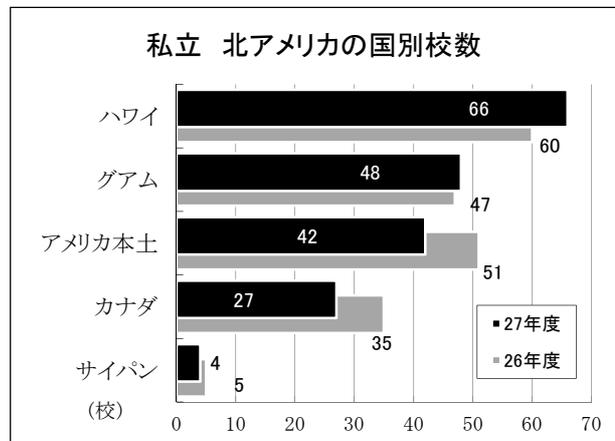
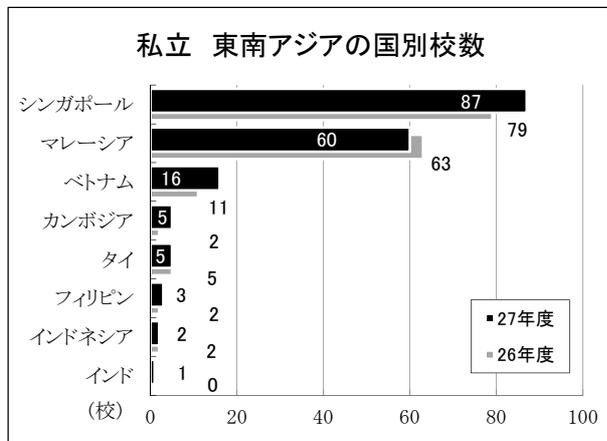
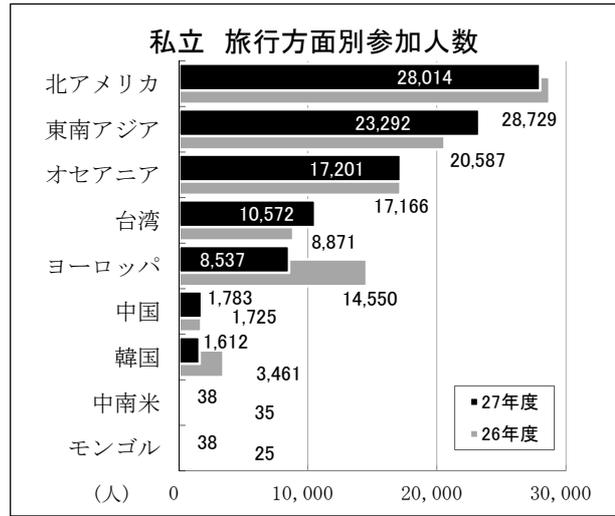
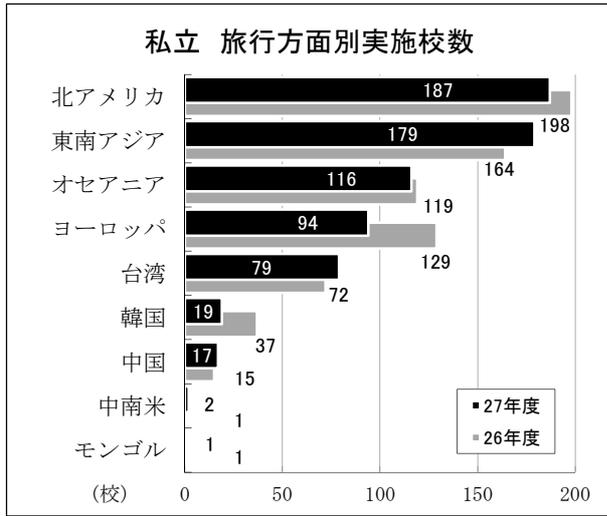
- 実施校は、350校が実施し57,760人が参加した。旅行実施件数は379件であった。
前年度より、実施校数で5校、旅行実施件数は12件増加。参加生徒数も2,849人増加した。
- 旅行先(延べ数)では、19ヶ国・地域に416校 63,757人が訪問した。
前年度より、実施校数は減少したが、旅行件数及び参加生徒数は増加した。
前年同様に大幅な増加となった台湾は、145校25,784人まで伸びた。(35校6,341人増)
北アメリカ、オセアニアは、校数の微増はあったが、参加生徒数は減少した。様々な出来事(テロ)があったヨーロッパは減り(6校212人)、韓国の減少も続いている。(10校1,072人)
一方、少しずつではあるが、ベトナムが伸びてきている。



※グラフは延べ数を基に作成。

② 私立高等学校

- 実施校数は440校、80,337人が参加した。旅行実施件数は657件であった。
前年度より、実施校数(28校減)・旅行件数(12件減)・参加生徒数(2,398人減)ともに減少した。
- 旅行先(延べ数)では、36ヶ国・地域に694校91,087人が訪問した。
前年より、実施校数(42校減)・旅行件数(22件減)・参加生徒数(4,062人減)ともに減少した。
方面別では、北アメリカ187校28,014人、東南アジア179校23,292人、オセアニア116校17,201人が多い。昨年オセアニアよりも多くの学校が訪問していたヨーロッパは、本年度94校8,537人と激減した。フランスでの度重なるテロ事件などの影響が推測される。
海外修学旅行は、国際情勢に大きく左右される部分が見てとれる。



※グラフは延べ数を基に作成。

(4) 公私立中学校の状況（参考）

中学校の海外修学旅行は、私立学校を主としており、公立学校は一部府県での実施が見うけられる。
参考資料として掲載した。

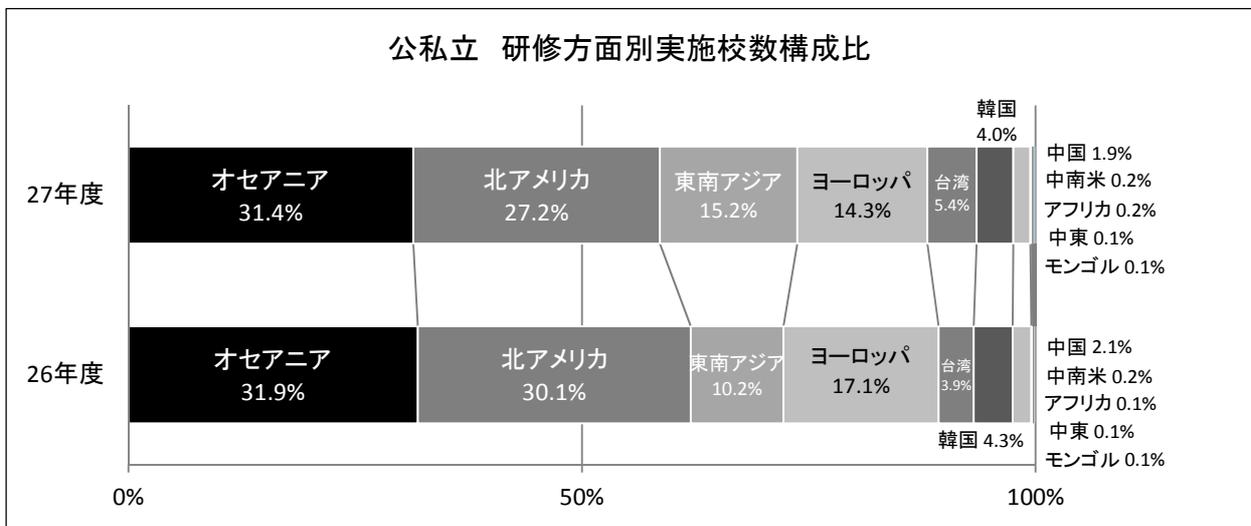
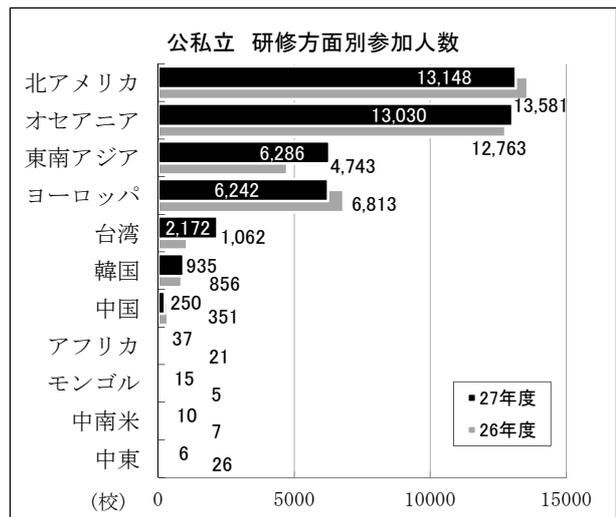
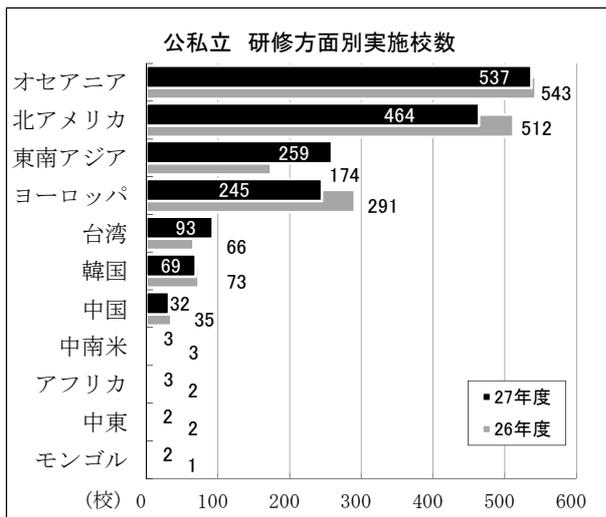
- 119校9,074人(公立12校909人、私立107校8,165人)の実施があった。
- 公立中学校は10道府県で実施され、全体的に少ない中でも、比較的中部(福井・静岡)、関東(東京・神奈川)、東北(青森・福島)、沖縄の学校の実施がみられる。
旅行方面は、校数では台湾(4校288人)、オーストラリア(4校148人)が多く、日数は6日間の設定が多い。
シンガポール、マレーシアへは、他地域に比べ、比較的大規模の学校の実施がみられた。
- 私立中学校は36都道府県で実施され、オセアニア方面(42校3,461人)が最も多く、次いで北アメリカ(39校2,806人)、東南アジア(22校1,712人)の順となっている。
旅行日数は「10日間以上」について「7日間」、費用は15万円以上が最も多い。

2. 平成27年度海外研修（修学旅行外）の実施状況

- 実施校は、1,192校（公立609校、私立583校）が実施し、参加生徒数は40,506人（公立16,129人、私立24,377人）であった。研修件数は1,821件（公立817件、私立1,004件）を数える。
前年度と比べると、実施校数は微減したが、研修件数は大きく増加した。
- 研修先（延べ数）では、47ヶ国・地域に1,709校42,131人（公立809校17,260人、私立900校24,871人）が参加した。
研修先は例年と変わらず、オセアニア・北アメリカが多いが、次いで多かったヨーロッパが減り（テロ等）、東南アジアと入れ替わった。
- 研修内容は、ホームステイ・語学研修が879校21,622人で実施総数（留学含む）の校数比47.5%、人数比51.3%と最も多い。公立では全件数の校数比32.7%（人数比37.3%）、私立で校数比59.8%（人数比61.1%）となっている。

海外研修旅行（修学旅行外）の年度別実施状況

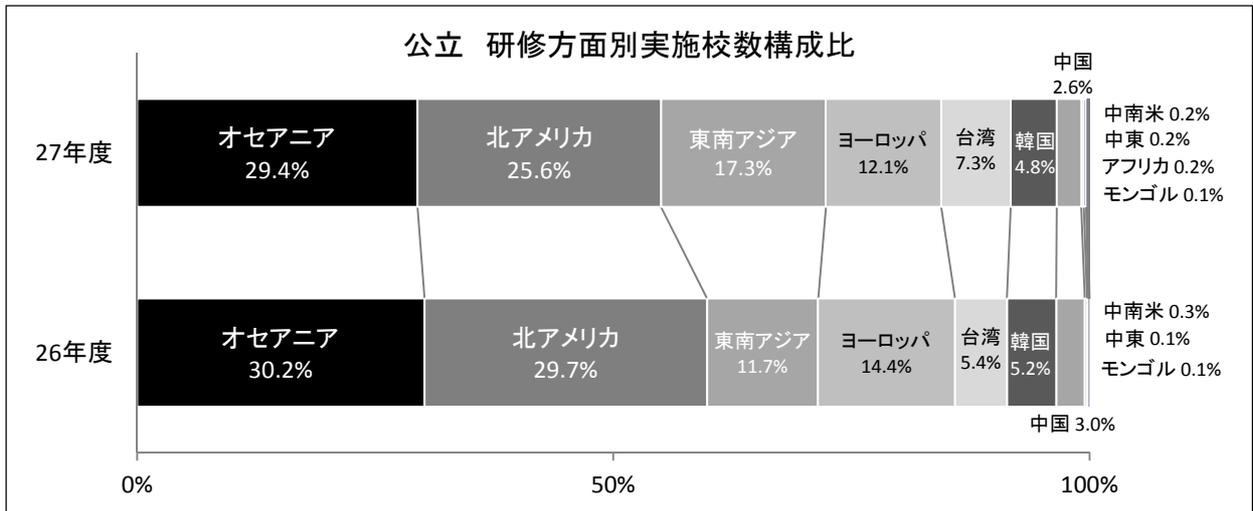
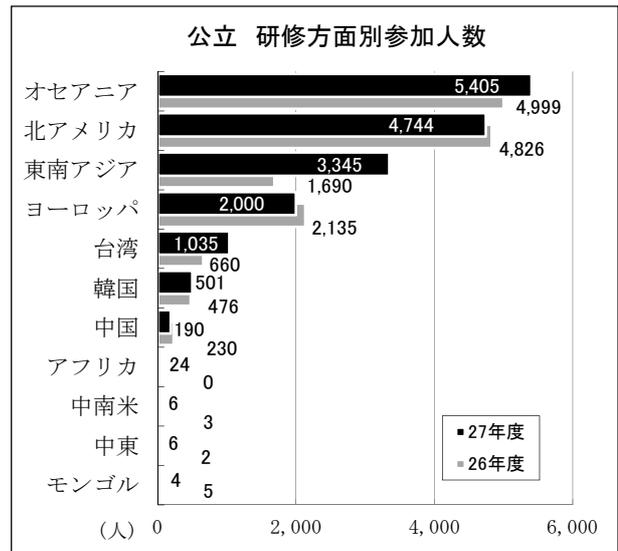
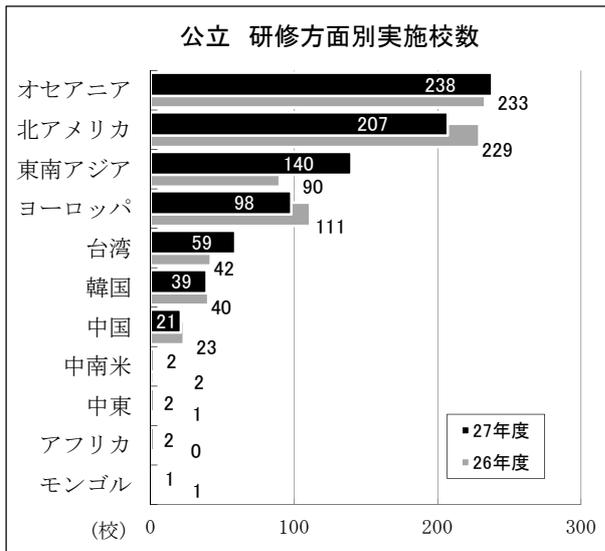
	計			公立			私立		
	実施校数	研修件数	参加生徒数	実施校数	研修件数	参加生徒数	実施校数	研修件数	参加生徒数
平成25年度	1,083	1,562	37,452	554	687	12,584	529	875	24,868
平成26年度	1,199	1,776	38,002	612	776	14,396	587	1,000	23,606
平成27年度	1,192	1,821	40,506	609	817	16,129	583	1,004	24,377



※グラフは延べ数を基に作成。

(1) 公立高等学校

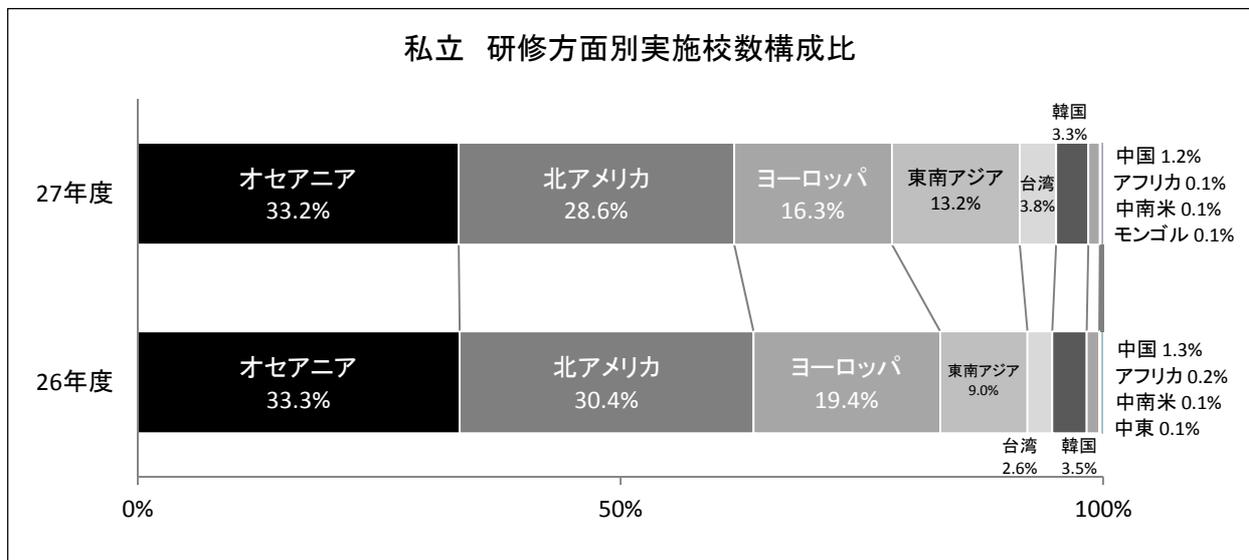
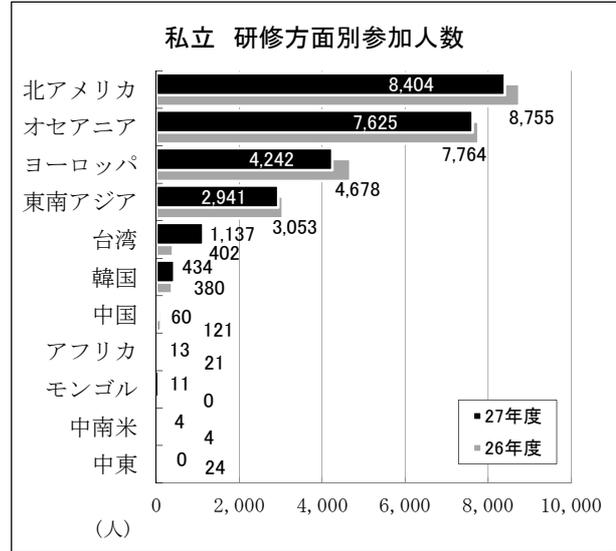
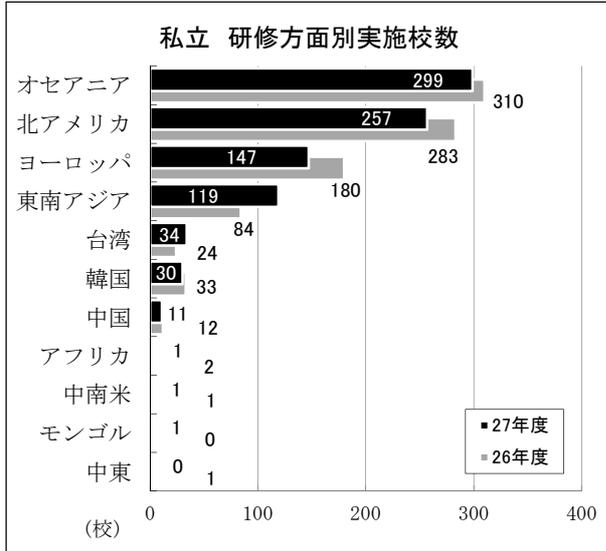
- 実施校は、609校(件数は817件)が実施し、参加生徒数は16,129人であった。
公立高校では複数校が同一研修に参加している事例が多い。
- 研修先(延べ数)では、38ヶ国・地域に809校17,260人が参加した。
研修方面ではオセアニア(238校5,405人)の、特にオーストラリアが多く、北アメリカ(207校4,744人)、東南アジア(140校3,345人)が続く。
- 研修内容は、ホームステイ・語学研修が276校6,435人(校数比32.7%、人数比37.3%)と最も多い。次いで国際交流・国際理解が207校4,931人(校数比24.5%、人数比28.6%)と多いが、オセアニア・北アメリカで実施している学校は学校交流(姉妹校交流・学校訪問)が国際交流・国際理解を上回っている。



※グラフは延べ数を基に作成。

(2) 私立高等学校

- 実施校は、583校(件数は1,004件)が実施し、参加生徒数は24,377人であった。
- 研修先(延べ数)では、40ヶ国・地域に900校24,871人が参加した。
 主要な研修方面は、オセアニア(299校7,625人)、北アメリカ(257校8,404人)、ヨーロッパ(147校4,242人)と変わらないが、微減している。代わって、東南アジア、台湾が伸びている。
 研修内容は、ホームステイ・語学研修が603校15,187人(校数比59.8%、人数比61.1%)と過半数を占める。



※グラフは延べ数を基に作成。